

第 35 回シクロデキストリンシンポジウム報告

第 35 回シクロデキストリンシンポジウムを平成 30 年 9 月 4 日および 5 日の二日間に亘り、山梨県立図書館（甲府市）にて開催致しました。4 月末に上智大学で開催された第 19 回国際大会（オーガナイザー：高橋圭子先生（東京工芸大学工学部）、早下隆士先生（上智大学理工学部））から遠くない本大会の開催は、参加者数について心配がありました。事前に 143 名のご登録をいただき、また当日も台風 21 号襲来の危惧の中 18 名のご登録をいただき、161 名の参加者をお迎えして 35 回目となる本大会を無事に開催することができました。

初日は学生さんの発表を中心として午前中は 8 演題の一般口頭発表、昼食を挟んで 35 演題のポスター賞審査対象者による発表が行われ活発な質疑討論が行われました。平成 30 年度総会では本年度奨励賞を受賞された愛知学院大学薬学部の小川法子先生の奨励賞授与式が執り行われ、総会后「製剤化を目指した難溶性薬物遊離体とシクロデキストリンの分子間相互作用評価」と題した受賞講演を行っていただきました。本年の学会賞受賞講演は残念ながらありませんでした。休憩を挟んで、山梨大学ワイン研究センターの奥田徹先生から「ワインの化学とおいしさ」と題した特別講演を行っていただきました。その後、会場をホテル談露館へと移し懇親会を開催致しました。懇親会は、学会会長である熊本大学薬学部の有馬英俊先生のご挨拶、および山梨大学工学域長の熊田伸弘先生による歓迎の辞、そして学会副会長の早下隆士先生の乾杯でスタートしました。暫くの歓談後、奨励賞受賞の小川先生にご挨拶をいただき、山梨大学管弦楽団有志の皆さんによる余興、今年度の優秀発表者賞・ポスター賞の受賞者の発表および表彰状と副賞の授与、受賞者のご挨拶へと移りました。優秀発表者賞は、①上沼駿太郎さん（東京大学大学院「自己組織化ポリロタキサンナノシートの創成」）、ポスター賞は②風間愛さん（大阪大学大学院「マルチリンカーをもつ α -シクロデキストリン二量体の合成と長鎖脂肪酸エステルに対する包接能の検討」）、③竹本良樹さん（上智大学大学院「ニトロ基を持つ dpa 型アゾブローブ/CyD における金属認識と包接挙動の特異性」）、④津田進さん（大阪歯科大学「シクロデキストリン-ロジウム触媒を用いたイサチン類の不斉アリール化反応」）の 4 名の皆さんです（五十音順）。



お祝い申し上げますとともに今後の皆さんのご活躍を祈念致します。懇親会最後には、次回シンポジウム実行委員長の神戸学院大学薬学部の袁徳其先生よりご挨拶いただき、お開きとなりました。

第二日目の午前は 5 演題の一般口頭発表に続き、平山文俊先生(崇城大学薬学部)より「シクロデキストリン包接を利用した結晶多形転移ならびに晶癖の制御」と題した特別講演をいただきました。お昼は株式会社リバネスによる「個人の Passion をコアにした超異分野的な研究が新たなコトを起こす」のランチョンセミナーを行っていただきました。午後は 25 演題のポスター発表、5 演題の一般口頭発表が行われ、初日と変わらない白熱した議論は最後まで続きシクロデキストリン研究の興隆を再認識するとともに有意義な情報交換の場としてのシンポジウムは盛会のうちに終了致しました。最後に来年度シンポジウム実行委員長である袁徳其先生よりご挨拶いただき、一本締めで平成最後のシンポジウムとなる第 35 回大会の幕を下ろしました。

本シンポジウムの開催には、日本応用糖質科学会、日本化学会、日本素材物性学会、日本糖質学会、日本農芸化学会、日本分析化学会、日本薬学会、日本薬剤学会、高分子学会より共催・協賛のご協力をいただきました。また、AGC(旭硝子)株式会社、出光興産株式会社、株式会社エヌ・イーケムキャット、塩水港製糖株式会社、甲府市観光商工室観光課、株式会社コサナ、株式会社シクロケム、株式会社シクロケムバイオ、重松貿易株式会社、有限会社新成化学、千寿製薬株式会社、大日精化工業株式会社、大鵬薬品工業株式会社、テルモ株式会社、日本シクロデキストリン工業会、日本食品化工株式会社、富士カプセル株式会社、豊前医科株式会社、ヤマト科学株式会社、株式会社ラボ・テック、湧永製薬株式会社の 21 もの関連団体および企業の皆様より多大なご支援を賜り、本大会を開催できました。心より御礼申し上げます。

最後になりましたが、本シンポジウム全般にわたり懇切丁寧にご指導を賜りました第 34 回シクロデキストリンシンポジウム実行委員長の小川法子先生、前会長の高橋圭子先生、会長の有馬英俊先生に厚く御礼申し上げます。また心許無い大会運営にも関わらずご参加・発表いただきました皆様、座長・ポスター審査をお引き受けいただいた先生方に感謝申し上げます。

そして準備から当日の運営など、ご協力いただきました実行委員の東京工業大学生命理工学院の池田博先生、城西大学薬学部の江川祐哉先生、山梨大学工学部の植田郁生先生、久本雅嗣先生、矢崎晃平先生、勝又まさ代様、学生諸氏、並びに、本学会事務局の三田敦巳様、福田公江様に厚く御礼申し上げます。



第 35 回シクロデキストリンシンポジウム実行委員会
実行委員長 桑原 哲夫(山梨大学)